

～オランダ連携プロジェクト～ スポーツサポーター育成セミナー

あなたも スポーツのバイプレーヤー

健常者も障害者も誰もが一緒に楽しみ、交流ができるスポーツ環境のサポーターになるためのセミナーを開催します。

パラスポーツの体験や障害者へのサポート方法などの実習を通して、オランダ連携プロジェクトが目指す「共生社会」におけるスポーツのサポーターとして、積極的に活躍するための知識や心づかいを身につけましょう。

開催日程 平成31年2月2日(土)、23日(土)、3月2日(土)
時間は全て14:00～17:00

開催場所 南町スポーツ・文化交流センター きらっと

対象 高校生以上(定員60名・申込順)

受講料 無料

内容 第1回 基礎講座「共生社会におけるスポーツの力」

(1) ボランティアの意義、共生社会とは

講師：澤江幸則(筑波大学体育系 准教授)

(2) 障害のある人のスポーツの現状と課題

講師：齊藤まゆみ(日本体育学会アダプテッド・スポーツ学専門領域副代表/事務局、筑波大学体育系アダプテッド体育・スポーツ学研究領域代表)

第2回 障害者へのサポートとパラスポーツ実習

第3回 ワークショップ

「クリエイティブにやってみよう！」

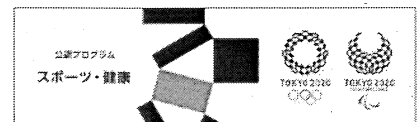
※全日程を修了された方には、認定証を発行します。

申込方法・問い合わせ

平成31年1月25日(金)までに住所・氏名・年齢・連絡先を次の方法でスポーツ振興課まで申込みください。

- ▶ 電話：042-438-4081
- ▶ FAX：042-438-2021
- ▶ メール：sports@city.nishitokyo.lg.jp

▶ 電子申請



「Game Changer の活躍を目指して」

今年度第2回目の訪日プログラムでは、今年プロジェクトテーマ「感動体験から知る・学ぶ」のもと、パラリピアンとの交流を通じたパラスポーツの可能性や、GameChanger と呼ばれるキーパーソンについて体験等を通して学びます。

日 時 平成31年2月5日(火) 午前9時から午後6時まで

【プログラム】

■特別授業 午前9時～午後1時 @西東京市立向台小学校

コーフボール（バスケットボールに似たオランダ発祥のスポーツ）のデモンストレーションや誰もがスポーツに参加する方法を体験します。

■パラスポーツと共生社会の体験 午後1時30分～3時30分 @西原総合教育施設

オランダでは、どのようにして障害者と健常者が一つのチーム・クラブとして活動しているかを学びます。コーフボールの体験をしたり、身の回りの道具を使いながら誰もがスポーツに参加することができる環境づくりを考えます。

■オランダ方式 障害者との向き合い方ワークショップ 午後4時～6時

@西原総合教育施設

オランダにおけるスポーツサービスポイント（障害者自身の要望や可能性を聞き、それぞれに適したスポーツやスポーツ環境を提供する相談窓口）やスポーツに参加したい障害者との向き合い方について、デモンストレーションや実習を通して学びます。

※当日、内容の一部を変更することがあります。

講師の方々

リタ・ファン・ドリエル氏



小学校教員、ナショナルチームでのアスリートやコーチ等を経て、現在は、オランダパラリンピック委員会事務局長等の役職に就く。NOC*NSFでは、障害者スポーツプログラムマネージャーを務める。

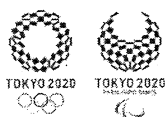
マヨライン・デ・ブーア氏



障害者の体育教育・身体活動、特別支援を必要とする子どもへの教育に関する豊富な知識と経験を有するスポーツコンサルタント。

※パラアスリートの参加は調整中です。

公認プログラム
スポーツ・健康



持ち物：動きやすい服装、室内履き
申込み：1月25日(金)までにスポーツ振興課
(sports@city.nishitokyo.lg.jp)まで

ホストタウンとは

2020年の大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」として全国各地に広げる。

1. 以下の取組みを行う地方公共団体を、ホストタウンとして登録する。

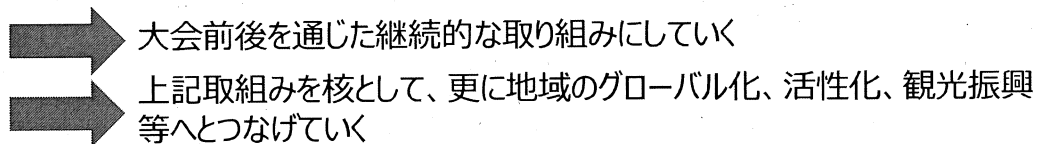
① 住民等と次に掲げる者との交流

- 大会等に参加するために来日する選手等 〔事前合宿の受入れは必須要件ではない。〕
大会出場後の交流でも可。
- 大会参加国・地域の関係者
- 日本人オリンピック・パラリンピアン

② ①に伴い行われる取組みであって、スポーツの振興、教育文化の向上及び共生社会の実現を図ろうとするもの

2. 内閣官房オリパラ事務局に、団体からの相談・申請等を受け付ける窓口を設置する。

3. 関係府省庁は、各種財政措置（特別交付税などの地方財政措置を含む）、人材の派遣、情報提供などを通じ、ホストタウンの取組みを支援する。



1

ホストタウンの事業イメージ（例）

○オリンピックとの交流を通じ、スポーツの素晴らしさを学ぶ

- ・ オリンピアンを経験を聞く
- ・ 大会に参加する外国人選手と競技を楽しむ



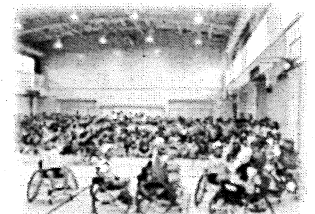
○大会参加国の方々との交流を通じ、外国を知り日本を伝える

- ・ 相手国からゲストを招き、歴史や文化を知る
- ・ 生徒から日本文化を紹介する
- ・ 来日した外国選手や同行スタッフに地元の魅力を体験してもらう



○パラリンピアンとの交流を通じ、共生を学ぶ

- ・ パラリンピアンと一緒に競技を体験する
- ・ バリアフリー、ユニバーサルデザインの大切さを学ぶ



2

西東京市交流計画の概要

西東京市

オランダ王国

団体名

相手国・地域

2019～
(大会開催まで)

2020
(大会中)

2020～
(大会直後～)

東京2020大会に
向けた機運醸成

オランダ王国と
の交流

共生社会の実現
に向けた取組

西東京市にゆかりのあるオリンピック・パラリンピアンとの交流

オリンピック・パラリンピック競技の体験イベント

オランダ人アスリート
関係者との交流

オランダ人オリンピック・
パラリンピアンとの
交流、応援

オランダの文化・産業の紹介や交流イベント等

オランダの共生社会の事例を学ぶ

スポーツ環境を支える指導者やボランティアを育成や活躍の場を創出

健全者と障害者が共にスポーツを楽しむ交流イベントの開催

